

縁親

〒915-0823
福井県越前市本町10-2
親縁山 大寶寺
TEL/FAX (0778)22-1682

秋季彼岸法要

日本列島は温暖化のせい毎年のように大雨が降ったり強い台風襲われていきます。また、地殻変動のためか地震や火山活動も活発です。世相の状況と相まって何かと不安がつる今日この頃です。しかしながら、お彼岸が近づくとつれ猛暑もようやく過ぎ行き、秋の到来を感じるようになりました。

さて、大寶寺、法林寺、浄土寺の秋の彼岸法要を左記のように勤めますので、ぜひお参り下さい。

秋彼岸法要

大寶寺 9月23日 午前10時より
法林寺 9月23日 午後七時より
浄土寺 9月24日 午後七時より

お墓参りの際は、本堂の阿弥陀様に、お参りしましょう。



トピックス

六地藏尊開眼 8/20

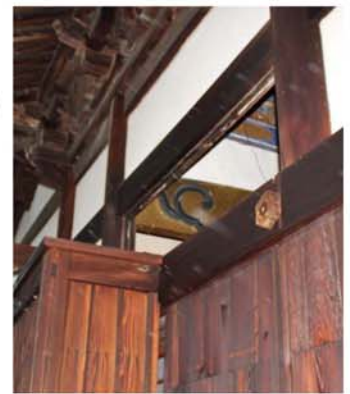
8月中旬、昨冬の大雪のために屋根が壊れた北門の外にある六地藏尊のお堂の修復が完了し、六体のお地藏さまを元の場所に安置しました。そこで8月20日の午前中、住職、副住職またその家族の参列のもと開眼供養を営みました。

元は笏谷石の屋根でしたが、屋根が重いと地震などの揺れに弱く、石材も手に入りにくいことから新しいお堂の屋根は瓦葺きです。

六地藏尊はそれぞれ天道、人間道、修羅道、畜生道、餓鬼道、地獄道の六つの世界で、衆生を救済するといわれています。各地の寺院や墓地の入口によくまつられています。

お彼岸のお参りの際は、足を伸ばして六地藏尊にもお参りください。

台風21号来襲 9/4



本堂の外から撮影したのですが、外壁が抜けて本堂内の壁や天井が見えています

台風20号による後始末が終わって、一息つく暇もなく21号が9月4日の日中、関西圏を直撃し、大阪、京都、滋賀などで甚大な被害が出ました。台風は午後3時ごろ福井県の上空を駆け抜けました。短時間でしたが、強風が吹き、県内でも少なからぬ被害ができました。

大寶寺では本堂の南側の西端の土壁が強風で抜け落ち、堂内に壁土が散乱し、風が入り込みました。また、本堂の屋根瓦が損傷し一部が落下しました。さらに本堂の裏を覆っていたトタン板の一部はがれるなどしました。境内は杉や松の枝が折れる程度で済みましたが、北庭にあるサルスベリの老木は幹の中



が傷んで、がらんだようになっていたこともあり、半分ぐらいのところまで折れて、隣のお寺の墓石におおいかぶさるなどしたので、早急に始末することを余儀なくされました。

濁中蓮華

濁った世間に咲く蓮の花の意

日本人は無宗教?

自分が無宗教であると考えた日本人は少なくありません。「バカの壁」という著書で知られる養老孟司さんは、「心の時代」という番組の中で、無宗教の無は、「仏教の説く無」だと述べています。

「仏教の説く無」とは何でしょう。この場合の無は、何も無いということではありません。般若心経には無という文字が二十一回も使われています。このお経は空という教えを説いていますが、「仏教の説く無」とは空のことです。空は「とらわれない心、こだわらない心」のことだと故薬師寺管主の高田好胤さんは説きます。

自分が無宗教だと思っている人に考えてほしいことがあります。なぜお墓参りやお宮参りをするのですか。なぜ神仏に手を合わせたり、拜んだりするのですか。そういうことを一切しないのであれば、あなたは無宗教といえるでしょう。そうでないならあなたは無宗教ではありません。

こう考えてはどうでしょう。私の心は「仏教の説く無」に支えられている。つまり良いものを良いとし、悪いものは悪いととらえる調和のとれた感性に裏づけられていると。

ご先祖が育んできた心、すなわち神仏を尊び、おかげに感謝する心をあなたが大切にしており、お寺や神社、また、お墓やお仏壇にお参りするのであれば、それこそがあなたの宗教であり、それは他のどんな宗教にも劣らず洗練されていると自信を持つべきです。

手仕事のまち歩き

越前市観光協会の企画による「手仕事のまち歩き」というツアーのコースに大寶寺が入っています。他にも来年3月まで6つのコースがあります。参加なさって見てはいかがでしょうか。

問い合わせ 0778-24-0655 観光・巧みの技案内所
<http://machiaruhi.welcome-echizenshi.jp>

トピックス

総墓参り 8/10

7月上旬には梅雨明けし、連日のように猛暑日が続く本堂の中でも熱中症対策が必要になるのではないかと心配されるほどでした。幸い8月10日は曇りがちだったこともあり最高気温が30℃とこの時期にしては、まずまずの天候に恵まれなんとか扇風機だけで乗り切ることができました。
本年もお施餓鬼の申込が三十席を越え、大勢のご参拝をいただきまして、ありがとうございました。

1 越前打刃物・今昔物語

～旧北陸道を歩きながら、ノスタルジックな世界へタイムスリップ～

伝統の技が今や欧米諸国からも高く評価されている越前打刃物。その原点は、今からおおよそ700年前、京都の刀匠・千代鶴国安が名剣を鍛える水を求めて越前国(現・越前市)にやってきたことに遡ります。現在、越前打刃物の生産拠点は市郊外に移りましたが、ツアーでは、千代鶴国安を祀る神社をはじめ、打刃物産地があった町並みや文化が詰まるまちなかエリアを散策します。刃物問屋やお寺の住職、ナビゲーターが越前打刃物のドラマを紹介します。

楽しみポイント

- 旧北陸道界隈を散策
- 創業100年以上の老舗 卸問屋・キリン刃物を見学

大寶寺で住職講話も 日野川ロールで ホット-息ティータイム

9月29日(土) 9:30~12:30

- 定員 15名
- 参加費 1,000円
- 所要時間 3時間
- 集合場所 蔵の辻 (福井県越前市津葉町)
- 駐車場 まちなか駐車場



おすすめコメント

吉田 悦庵さん [大寶寺住職]

歴史が詰まったこの町の魅力に、是非、触れてみてください。

コース内容
(9:30) 蔵の辻(集合) — 寺町界隈(散策) — (9:50) 千代鶴神社 — タンス町・旧北陸道界隈(散策) — (10:30) キリン刃物(見学) — 旧北陸道界隈(散策) — (11:30) 大寶寺(住職講話、ティータイム) — 徒歩移動 — (12:30) 蔵の辻(解散)



こどもおやつクラブ

総墓参りなどこどもおやつクラブにお供えをいただきありがとうございます。お供えいただいたきましたお菓子や飲物は今年も市内の野尻医院にて実施される「みんなの食堂」に届けました。
こどもたちに、きつと楽しんでもらえたいと思います。今後ともよろしくお願ひします。

『伝法袈裟』



浄土宗の僧侶となるためには、所定の学業と修行をおさめた上、伝法伝戒道場(加行)を満行しなくてはなりません。これは、一年でも最も寒さの厳しい十二月四日より二十五日までの三週間にわたり総本山知恩院にて行われる修行です。その間、修行僧は一切暖房のない道場で、浄土宗の教えを正しく伝えるべく、研修と修行に励みます。

この研修を修了すると修行僧は正しく宗脈・戒脈を伝えているということになります。総本山知恩院では、新しく浄土宗僧侶となる修行僧のために、皆様に「伝法袈裟」のご喜捨をお願いしております。

伝法袈裟には、ご喜捨をなされた方のお名前と、その方にご縁のある方のご法名を書き入れます。この袈裟を授与された僧侶は加行が終わったのちも、その袈裟を身にまといまします。伝法袈裟をご喜捨なさることは何よりのご先祖の供養になります。

どうか右の趣旨をご理解いただき、是非、伝法袈裟をご喜捨いただき、加行僧、また、総本山知恩院とのご縁を結んでいただきますようお願い申し上げます。

平成三十年九月佛歡喜日 総本山知恩院 記

※喜捨 喜んで布施すること

※大寶寺を通して申し込んでいただくこともできます。

- 一、伝法袈裟賃加料 一 霊位につき金一〇、〇〇〇円也
 - 一、お申込み 現金書留にて直接、総本山知恩院に申し込んで頂くか、大寶寺まで。
 - 一、申込期限 その際、施主のお名前、住所、電話番号、ならびに回向をするご先祖の霊位をお知らせください。
 - 一、お申込み先 十月三十一日。これ以降は来年度分になります。
- 〒605-8689 京都市東山区林下町 四〇〇
- 総本山知恩院布教部教務係宛
- 〇七五-一五三-二二一五七



※お申し込みいただいた方の個人情報、当山で伝法袈裟喜捨結縁に関する業務にのみ使用し、他には流用いたしません